



2014年8月19日

みなさん、こんにちは。

今回の「博物館だより」は、8月17日(日)に開催した「子ども創作ワークショップ<キミだけのエッシャーパズル>」の様子と8月8日(金)の「エッシャー100選」観覧者1万人目記念セレモニーの様子を一言NEWSでご紹介します。



キミだけのエッシャーパズル



8月17日(日)に、明石高専連携企画の「子ども創作ワークショップ<キミだけのエッシャーパズル>」を実施しました。台風11号の影響で延期になった10日(日)に参加予定であった12名と当日参加者20名を加えた32名が参加。参加者はまずパズル作りの練習として、左下の角から右下の角まで自由に線を描き、トレーシングペーパーを使って模様を写し、パズルの図柄を作成。



描いた図柄はハサミで切るのですが、細かい模様を描いた子どもは切るのに悪戦苦闘。本番では、緩やかな線で図柄を描く子が増えました。切り取った1つのピースを構築し、パズルの図面を作成。なかなかうまく柄を合わせることが出来ない子もいましたが、明石高専の学生が解決方法を提案し、無事にパズルの図面を完成させていました。各テーブルに明石高専の学生が付いて指導。困っている子どもがいれば、すぐに声をかけて手伝ってくれ、子どもたちも年が近いお兄さん、お姉さんで話やすかったと思います。パズルの進行具合はそれぞれ違っていました。犬や猫、鳩やコウモリ、サメ等図面から色々な柄に見立てている子もいました。作品ができ上がるにつれて、「めっちゃ楽しい!」と思わず口に出す子がいたのが印象的でした。ワークショップを



通じて、夏休みに創作活動で頭を使い、芸術作品を楽しみ、普段ではなかなか味わえない有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。



ひとことNEWS

「観覧者1万人目記念セレモニー」

8月8日(金)に現在開催中の「エッシャー100選」の観覧者数が1万人に到達し、記念のセレモニーが行われました。1万人目の観覧者は、神戸市から父親と二人で来館した高校1年生の滝井快人君でした。1万人に選ばれた時は、とても驚いた様子でしたが、笑顔で記念撮影に応じていました。



詳しい展覧会情報は
当館HPをご覧ください。
<http://www.akashibunpaku.com>
次回の「博物館だより」をお楽しみに。

